

会議概要

会議名	第3回鹿児島市総合計画審議会
日時	令和3年4月12日（月）18時30分～20時00分
場所	市役所東別館3階 災害対策本部室
出席者	鹿児島市総合計画審議会委員 ※18名（欠席2名）
市出席者	事務局： 企画財政局長、企画部長、政策企画課長
会次第	1 開会 2 協議 （1）基本構想（素案）について ① 市民参画手続の実施状況について ② 第2回審議会意見について ③ 意見まとめ （2）次回の会議開催について （3）その他
主な意見等	1 「基本構想（素案）」について <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島らしいICTの未来について、国籍、性別、年齢などダイバーシティの観点から、ICTがより多様な市民の社会の関わり方や働き方を可能にするという観点をに入れてはどうか。あまねくデジタルの恩恵を受けられるようにするのも行政の役割かと思う。 ・ 鹿児島市の現状を見ると、卸売業・小売業、医療、福祉、宿泊業・飲食サービス業、運輸業、郵便業などが多く、コロナ禍の中でも、リモートワークはできず現場に行かなければならず、また、非正規も多く労働条件も厳しいといったことをおさえておく必要がある。 ・ 医療についてはコロナの関係もあるし、鹿児島には火山もあり、危機管理など注目されており、非常に大事である。市民にとっても、医療と防災は、もっと高度化していかなければ、力を入れなければいけないのではないか。 ・ リカレント教育について、社会人をバックアップする体制を整えなければならないと思う。鹿児島市は労働者が集まっており、その学び支援は重要。 ・ 地域の文化について、地域という切り取られた場所のようなイメージがある。例えば「鹿児島の風土に根差した地域の文化を掘り起こし」というような形にすると鹿児島という独特の場所における環境の中で生まれた文化というイメージができるかと思う。 ・ 質の高い暮らしとはどういう意味かと思うと、精神的に豊かな、というところに多分なるのかなと思う。コンパクトなまちづくりは機能性を持つという意味では大事な部分なのかなとも思いつつ、それぞれ人が住みやすいところで住んでいくとなったときに、どうまちの統制をとっていくのが難しいと感じている。